

日本拳法部



6月1～2日、熊本武道館で行われた県高等学校総合体育大会日本拳法競技で、矢部高校が男女とも団体戦で優勝を果たし、個人では男子が優勝、女子が上位3位を独占し全国大会への出場切符を手に入れました。

矢部高校日本拳法部は2004年に創部され、現在は部員13名。創部2年目から指導にあたられている演習監督のもと、部員の努力によりこれまでも数々の成績を残してきています。今回の全国大会に向けて主将の小田亮太さんは、「全国制覇を目指して、一戦でも多く勝ち進みたい。」と意気込みを語りました。

県大会結果

男子・女子団体優勝
 男子個人・西山 文哉さん（優勝）
 女子個人・藤川 千夏さん（優勝）
 黒田 知誉さん（2位）
 岡本優衣香さん（3位）

矢部高校全国大会出場！！

二輪車競技部

6月23日、県免許センターで開催された二輪車安全運転熊本大会で、矢部高校二輪車競技部と矢部ツーリングクラブの結成チームが県予選で、団体・個人ともに優勝し、全国大会への出場を果たしました。

今回の全国大会に向けてキャプテンの西真人さんは、「プレッシャーに負けず、個人戦も団体戦も優勝を目指して頑張りたい。」と力強く話しました。

全国大会は三重県の鈴鹿サーキットで8月3日に開催されます。

県大会結果

高校生クラス 矢部高 緑科学科 西 真人さん
 女性クラス 矢部高 食農科学科 山田 幸代さん
 一般Bクラス（1100cc）白小野 本田 和幸さん



今年のお茶の出来ばえは？

山都町茶品評会

6月21日、山都町中央公民館で「平成25年度山都町茶品評会」が開かれ、山都町内の生産者が、釜炒り製玉緑茶の部に21点、蒸し製玉緑茶の部に30点を出品しました。審査には熊本県農業研究センター茶業研究所などの職員があたりました。

審査項目は外観（お茶の形）20点、香気（お茶の香り）75点、水色（お茶のお湯の色）30点、滋味（お茶の味）75点の合計200点満点で審査が行われました。

審査の結果は次のとおりです。（敬称略）

釜炒り製玉緑茶	1等	下田 房夫（犬飼）
	2等	松本 茂（犬飼）
	2等	杉本 直道（目丸）
	2等	阿部 主税（犬飼）
	3等	渡辺 憲治（北中島）
	3等	井手 敏博（猿渡）
	3等	荒木 精之（島木）
	3等	後藤 孝徳（犬飼）
蒸し製玉緑茶	1等	藤原 優徳（島木）
	2等	増本 廣美（牧野）
	2等	渡辺 成善（北中島）
	2等	藤本 誠一郎（入佐）
	3等	藤岡 英隆（藤木）
	3等	中村 豊光（犬飼）
	3等	岩永 道治（島木）
	3等	橋本 博（男成）
	3等	江藤 孝義（北中島）
	3等	下村 幸治（目丸）
	3等	坂本 和弘（男成）

基幹産業の農業体験

実際に足を踏み入れて

入佐地区で6月14日、熊本市の国府高校商業科マーケティングコース3年生が田植え体験をしました。これまでに田植えを経験したことがある生徒は少数で、山都町有機農業協議会の方々が直接指導しました。実際に田んぼに入ると初めての感触に生徒は皆大騒ぎ。始めはごちなかつた田植えも、数をこなすごとに上達し一枚の田んぼに植え終わりました。生徒たちの田植えを指導しながら見守られていた藤本さんは、「米が出来るまでにどれだけ労力が掛るかを生徒たちにも知ってもらうためにはとても良い機会だと思う。これを通して生徒たちに、食についてもう一度見つめなおしてもらえれば嬉しい。」と話されました。



代掻きから田植えまで

6月13日、矢部小学校児童5年生が代掻きを通潤橋前の棚田で行いました。始めに田小野の野口尚之さんと千滝の野口慎吾さんから代掻きのやり方や、意味の説明を受けた児童たちは実際に田んぼに入り代掻きを体験しました。もともと岩山を開田したため、石や岩がゴロゴロとしており、児童たちは足を踏み入れて石を取り除きました。その後は、児童たちが代掻きをした田んぼでお楽しみの泥リンピックが開催。綱引きやサッカー、ドッジボールを泥だらけになりながら皆で楽しみました。

6月17日、今度はその代掻きをした棚田に田植えを行いました。代掻きの時は田んぼに入る際に「気持ち悪い」と躊躇していた児童たちも慣れたもの。苗を手にとると目印の場所へ次々と手際よく植えていました。

今回、児童たちが植えた苗は土の代わりに竹の粉で出来た苗を使用。ひと通り植え終わった後は、竹を粉末状にした粉を田んぼ全体に蒔きました。この竹には土壌を改良する作用があるとのこと。



竹の粉を使用



代掻き

泥リンピック!?

田植え